

2019年夏 **NO.86** 証券コード: 7942

第61期報告書 2018年4月1日~2019年3月31日



社長メッセージ

Message from the President



代表取締役社長 酒井 幸男

JSPニュース No.86 Contents

社長メッセージ01
特集 : JSPの発泡プラスチック 03
トピックス : 関西工場 新工場が完成 05
トピックス: 新製品情報
連結財務ハイライト 07
連結セグメント情報 08
要約連結財務諸表
JSPカレンダー11
株主優待制度/配当実績
会社情報
表紙の写真

1 はじめに

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお 慶び申し上げます。

今年も建築基準法違反など信頼を揺るがす問題が発生していますが、我々は、社会への貢献を製品という形に代えてお届けしていることを忘れずに、無事故、無災害、安全そしてお客様を第一に考え、法令順守は当然のことコンプライアンス管理を徹底して経営に当たります。

● **2** 2018年度の概況

世界経済は、米国では、貿易摩擦や金利上昇による経済減速の懸念はあったものの、減税効果などによる設備投資や個人消費の伸びにより底堅い成長を維持しまた。メキシコでは、貿易摩擦の懸念が低減し、景気は堅調に推移しました。ブラジルでは、景気の回復が一時的に足踏み状態となったものの、工業生産の回復基調は維持されました。欧州では、雇用環境改善による個人消費回復は継続しておりますが、輸出拡大の頭打ちなどにより景気回復が鈍化しました。アジアでは、貿易摩擦の影響や一部地域での景気停滞もあり、経済成長は維持しているものの鈍化傾向が見られました。日本経済は、内需回復の兆しはあるものの、自然災害、原燃料・輸送コスト上昇、更には外需減速の影響を受け、景気は踊り場を迎えています。

国内発泡プラスチック業界におきましては、家電分野等の回復はありましたが、食品・水産分野などでの需要低迷や原燃料価格上昇の影響があり、分野によっては厳しい環境となりました。

当社グループの経営成績は、国内売上高は特に付加価値の高い製品の販売増や原材料価格上昇に伴う製品価格改定により増加しました。海外売上高は、韓国での販売減少や第4四半期連結会計期間における景気減速の影響



を受け、前期並みとなりました。一方利益面では、国内事業は原燃料・輸送コスト上昇に対する製品価格改定の遅れ、一部分野での需要低迷の影響により、営業利益は減少しました。海外事業は原料コストの上昇、アジアでの販売競争激化、将来に向けた投資の増加により営業利益は大きく減少しました。

これらの結果、売上高は、116,133百万円(前年同期比1.6%増)となりました。営業利益は5,479百万円(同39.8%減)、経常利益は5,835百万円(同36.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,309百万円(同37.1%減)となりました。

● 3 中期経営計画の進捗状況

外部環境の影響を受けにくい体質へ転換を進めていますが、まだまだ不十分です。期初に策定した諸施策を確実に実行出来たか、出来ていない部分はどこか、なぜ出来なかったかなど要因を分析し、2019年度に反映していきます。

当期は中期経営計画「Deeper & Higher2020」の2年目です。基本は、差異化戦略と成長戦略の推進と経営基盤の強化です。

差異化戦略では、4つの成長エンジンに経営資源を集中し伸ばして行きます。成長エンジンのうちFPD関連保護材は順調に販売を伸ばしています。建築住宅断熱材は住宅や小規模建物への改正省エネ基準の適合義務化は見送られましたが、高断熱化の傾向は継続しています。関西工場に新工場建屋が完成しました。これにより西日本地区の生産体制が強化され、高性能製品「ミラフォームラムダ」と予め指定寸法にカットする「大引間割付断熱工法」の生産能力が大幅に強化されます。自動車部品は、今期は原燃料価格高騰、特に北米でのポリプロピレン価格の高騰と韓国での販売数量減の影響が大きく、大幅な傾向で、リアシートコア材等の自動車部品の採用が拡大し

ていますので、営業利益は改善するとみています。4つ目の成長エンジンである新たな事業領域に関して、2018年度は体制整備を行いました。事業戦略室は欧米と連携してM&Aを含めた検討を進めています。事業開発部は従来からのテーマを絞り込み、事業化に向け進めています。成長戦略の推進では、真の顧客ニーズを追求し、ユニー

成長戦略の推進では、真の顧客ニーズを追求し、ユニークで競争力ある製品の創出に注力しています。

経営基盤強化では、人材育成強化、安全衛生・環境保全の企業文化の醸成、コーポレートガバナンスを強化しています。昨今、海洋でのマイクロプラスチックに端を発したプラスチックごみ問題がクローズアップされています。G20大阪サミットでも取り上げられています。一企業が出来ることには限りがありますが、環境省主催の「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加し、活動しています。

● 4 2019年度見通し

以上の中期経営計画の確実な実行による販売数量の増加、国内原料価格の軟化、米国ポリプロピレン価格の下落から、売上高は119,400百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は7,200百万円(同31.4%増)を見込んでいます。

● 5 株主・投資家の皆様へ

米中貿易摩擦や中東情勢など先行き不透明ですが、中期経営計画「Deeper & Higher2020」で策定した諸施策を確実に実行し、目標達成に向かって全社一丸で取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

酒井幸男

特 集 JSPの発泡プラスチック

Feature



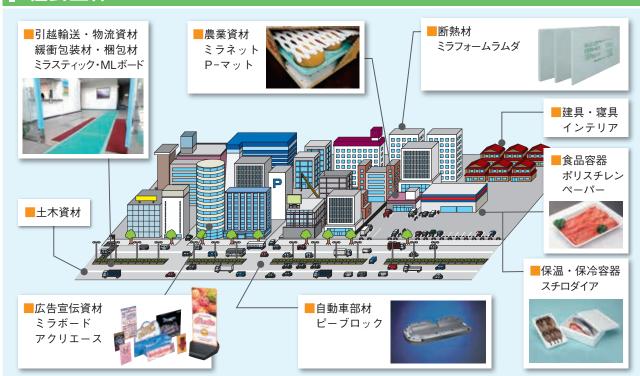
当社グループは、発泡プラスチックの総合メーカーとして、オリジナル技術 をベースに社会のあらゆるシーンに製品を展開しています。

発泡プラスチックとは?

空気を使って、機能を創る。それが発泡プラスチックです。

発泡プラスチックとは、プラスチック樹脂を気泡生成し安定化したもので、発泡することで断熱性や緩衝性といった多様な機能が生まれます。気泡の大きさ・形・割合などを変えることで、バラエティに富んだ製品の開発が可能。幅広い分野での可能性を秘めています。

社会全体で





■ JSPの技術がもたらす省資源・省エネルギー社会の実現

発泡プラスチックは空気を含ませるという製法から原料使用量を大幅に削減でき、環境負荷低減に貢献しています。空気を含むことで、軽量性、断熱性、緩衝性という機能が通常の樹脂と比べ大きく向上し、より軽い、より強い、より優しい製品づくりで省資源化に取り組んでいます。

軽量性

自動車部品としてさまざまな部位に採用されています。自動車の軽量化は、燃費向上やCO₂排出量の削減に効果的であり、衝突安全性能の向上はもちろんのこと、環境負荷低減にも貢献しています。

断熱性

住宅・建築物の断熱材として使用され、高い省エネルギー効果を発揮するとともに、冷凍・低温倉庫・車両などさまざまな分野に対応。また、食品用途として、食材を新鮮なまま届けることで、食品ロス削減を実現します。

緩衝性

優れたクッション性でさまざまな分野の包装資材として使用されています。長時間の輸送運搬に耐えられ、製品を安全に輸送できるほか、繰り返し使用できることから、物流コスト削減、環境負荷低減にも貢献しています。

暮らしの中で



Topics







新工場の竣工式

兵庫県たつの市にある既存の関西工場に隣接する土地に新たに 建設した新工場の竣工式が1月29日に開催され、酒井社長をはじめ 内外の関係者約60名が参列しました。

ZEH・ZEB、省エネルギー基準への適合義務化対象の拡大などで建物の断熱性能の高機能化が求められている中、当社主力製品のひとつである断熱材「ミラフォーム」は、建築・住宅の市場で需要が高まっています。この需要増を受け、西日本地区における生産体制の強化を目的に新工場が建設されました。



新工場外観

当社のミラフォーム生産拠点は、国内4か所(北海道江別市、栃木県鹿沼市、兵庫県たつの市、熊本県熊本市)になりますが、新工場は鹿沼工場に続く2番目の生産規模になり、この完成により、東西2大生産体制が構築されました。

新工場では、特に需要が高まっている高性能製品「ミラフォームラムダ」の生産を西日本で初めて開始します。現在 関西工場内で稼働中の生産ラインを新工場に移設するとともに、新規にラムダの生産ラインを追加導入、ミラフォーム の生産能力は大幅アップとなります。また、予め指定寸法にカットする「大引間割付断熱工法」の断裁2次加工品の設備 も拡充します。東西2拠点の体制強化を軸に需要の拡大に積極的に対応し、安定した成長を目指します。



新製品

Sラフォーム・畳 衝撃緩和型畳(畳床) よりり が

JIS A 5917の品質に適合

やさしく、あたたかい床材 — それは「畳」。 そんな畳に、さらなる安心を付け加えました。

高齢者や子供、介護者の方が快適な生活を送ることを目的とした、 衝撃を吸収しやすい構造の畳床です。 最大9割給付! 介護保険 が活用できます!

特長

優しい感触

歩きやすく、疲労感が 少ない硬さ!

衝擊緩和

転んだときでも、 衝撃を緩和!

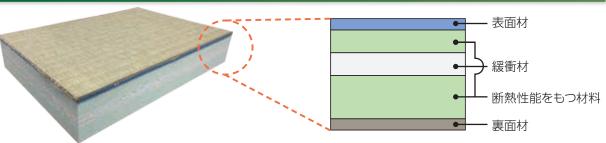
断熱効果

足元からの 冷えを軽減!

次世代住宅ポイント

が適用されます!

構 成 ▶▶▶ 優れた性能で安心・安全を



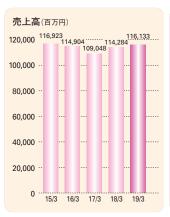
<問合せ窓口> (株)JSP 建築土木資材事業部 住宅資材グループ TEL: 03-6212-6363

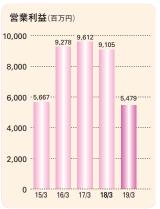
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights



(単位:百万円)	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
	116,923	114,904	109,048	114,284	116,133
営業利益	5,667	9,278	9,612	9,105	5,479
	6,044	9,101	10,033	9,217	5,835
 親会社株主に帰属する当期純利益	4,039	5,914	7,301	6,853	4,309
 純 資 産	70,352	72,497	76,778	84,105	84,141
 総 資 産	116,717	115,136	113,151	125,270	129,229
(単位:%)					
売 上 高 営 業 利 益 率	4.8	8.1	8.8	8.0	4.7
売 上 高 経 常 利 益 率	5.2	7.9	9.2	8.1	5.0
売上高当期純利益率	3.5	5.1	6.7	6.0	3.7
(単位:円)					
1株当たり当期純利益	135.50	198.40	244.94	229.91	144.57
1 株 当 た り 純 資 産	2,190.61	2,277.32	2,433.10	2,667.72	2,691.76
(単位:百万円)					
設 備 投 資	7,575	6,341	6,236	8,153	10,896
減 価 償 却 費	5,327	4,903	4,952	5,072	5,601











押出事業

産業資材、建築土木資材製品は需要の 拡大もあり売上は増加しました。生活資 材は販売は減少しましたが価格改定な どで売上は増加しました。原材料価格、 運送費の上昇等で減益となりました。



ビーズ事業

「ピーブロック」は日本、北米、中国での販売は好調で増加しましたが、韓国での減少が大きく影響しました。利益面でも、米国を中心に原材料価格が高騰し減益となりました。「スチロダイア」は下期価格改定の効果で売上は増加しました。





(魚箱・野菜箱)

スチロダイア

スーパーブロー (ユニットバス天井材)





ピーブロック (緩衝材)

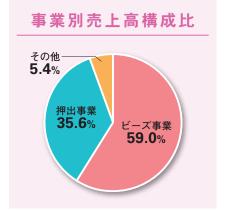
ピーブロック (自動車部材)



その他

国内では、自動車部品関連等全般的に 堅調であったことから売上は増加しま した。中国では各種部品関連の需要獲 得により売上は増加しました。利益も 増益となっています。





要約連結財務諸表

Summary of Consolidated Financial Statements

要約連結貸借対照表

(資産の部)	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在	前期比 増減額
流動資産	66,830	67,157	△ 326
現金及び預金	14,842	16,963	△ 2,121
受取手形及び売掛金	30,630	30,712	△ 81
有価証券	23	121	△ 98
商品及び製品	7,611	6,906	705
仕掛品	1,198	1,115	83
原材料及び貯蔵品	5,611	5,255	355
その他	6,984	6,195	788
貸倒引当金	△ 72	△ 114	41
固定資産	62,399	58,113	4,286
有形固定資産	56,284	52,625	3,658
建物及び構築物	19,785	16,808	2,977
機械装置及び運搬具	16,810	16,446	363
土地	14,639	14,557	82
その他	5,049	4,813	235
無形固定資産	1,729	926	802
投資その他の資産	4,385	4,561	△ 175
投資有価証券	1,431	1,680	△ 249
その他	3,358	3,290	68
貸倒引当金	△ 404	△ 410	5
資産合計	129,229	125,270	3,959

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

		((単位:百万円)
(負債の部)	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在	前期比 増減額
流動負債	34,344	33,145	1,198
支払手形及び買掛金	11,183	11,483	△ 300
短期借入金	7,497	6,366	1,131
1年内返済予定の長期借入金	3,921	3,945	△ 23
その他	11,741	11,350	391
固定負債	10,744	8,019	2,724
長期借入金	7,969	5,712	2,256
退職給付に係る負債	568	576	△ 8
その他	2,205	1,730	475
負債合計	45,088	41,164	3,923
(純資産の部)			
株主資本	81,553	78,700	2,853
資本金	10,128	10,128	_
資本剰余金	13,441	13,405	35
利益剰余金	59,370	56,551	2,819
自己株式	△ 1,386	△ 1,385	△ 1
その他の包括利益累計額	△ 1,313	824	△ 2,138
非支配株主持分	3,901	4,581	△ 679
純資産合計	84,141	84,105	35
負債純資産合計	129,229	125,270	3,959

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



要約連結損益計算書

(単位:百万円)

女小连和识型时间	(単位・日万円)		
	当期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	前期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期比 増減額
売上高	116,133	114,284	1,848
売上原価	85,286	80,657	4,629
売上総利益	30,846	33,627	△ 2,780
販売費及び一般管理費	25,366	24,521	845
営業利益	5,479	9,105	△ 3,626
営業外収益	695	577	117
営業外費用	340	466	△ 126
経常利益	5,835	9,217	△ 3,382
特別利益	440	403	36
特別損失	228	132	95
税金等調整前 当期純利益	6,047	9,488	△ 3,440
法人税等	1,872	2,497	△ 625
当期純利益	4,174	6,990	△ 2,815
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 134	136	△ 271
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,309	6,853	△ 2,544

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

要約連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

	当期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	前期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期比 増減額
 営業活動による キャッシュ・フロー	7,391	10,849	△ 3,457
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,368	△ 7,661	△ 2,707
財務活動による キャッシュ・フロー	1,708	△ 506	2,215
現金及び現金同等物の 期末残高	9,082	10,807	△ 1,724

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



2019



関西工場 新工場完成

2018年1月より施工を開始しておりました関西工場の新工場が完成し、1月29日、竣工式を開催致しました。機械設備の移設等を行い、2019年9月より本格的な生産を開始致します。

「2019年3月期 第3四半期決算短信 | 発表

1月31日、東京証券取引所にて2019年3月期第3四半期決算を報告 し、対外発表致しました。





QCサークル活動全国大会開催

3月9日、当社恒例のQCサークル活動発表全国大会をフクラシア丸の内オアゾで開催致しました。全国11工場54サークルから選抜された11サークルが、日ごろ取り組んできたテーマの成果を発表し、関西工場のファインプレーサークルが金賞を受賞致しました。





入社式開催

4月1日、本社にて入社式が行われました。新たに入社した社員は各部署に配属され、今後の活躍が期待されます。

グループ会社社名変更

4月1日より、当社グループ会社「油化三昌建材株式会社」は「三昌フォームテック株式会社」に社名を変更致しました。



「2019年3月期 決算短信」発表

4月26日、東京証券取引所にて2019年3月期決算を報告し、対外発表致しました。



決算説明会開催

5月22日、JPタワーホール&カンファレンスおいて、アナリスト・ファンドマネージャーに対し、2019年3月期決算の説明会を開催致しました。





定時株主総会開催

6月27日、定時株主総会を開催致しました。尚、当定時株主総会において取締役の選任・決定を致しました。

今後の 予 定

7月下旬 2020年3月期 第1四半期決算 発表予定

株主優待制度/配当実績

Shareholder Benefit/Dividend Record



株主優待制度



■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元 (100株) 以上を保有されている株主様

■優待の内容

ー律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード (株主様は3,000円全額ご使用いただけます)

■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

■社会貢献寄附金 「緑の募金」 について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、(公社) 国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

配当実績

■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

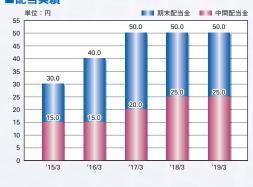
内部留保資金につきましては、財務体質の強化 とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投 資や新規事業展開のための設備投資に充当してま いります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役会決議により行うことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役会決議による配当を基本的な方針としております。

■当期配当金

2019年3月期の1株当たりの配当金は50円、支払い済みの中間配当金を差し引いた期末配当金は1株当たり25円とさせていただきます。

■配当実績





会社概要

商 号 株式会社JSP

所 在 地 本社 東京都千代田区丸の内三丁目4番2号

事業内容 発泡プラスチック、

その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、

土木・建築工事の設計・請負および管理

設 立 1962年(昭和37年)1月

資 本 金 10,128百万円

決算期3月

従業員数 775名(出向者除く)

連結3,154名(国内:1,371名、海外:1,783名)

事業所他 5営業所、1出張所、11工場、2研究所

主要関係会社 国内9社、海外28社

大 株 主

株 主 名	株数 (千株)
三菱瓦斯化学株式会社	16,020
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,569
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,114
JSP取引先持株会	1,089
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	587
JP MORGAN CHASE BANK 385166	439
JSP従業員持株会	288
日本生命保険相互会社	242
住友林業株式会社	170
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	161
	*

当社は自己株式1,604千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株主メモ

事業年度4月

期末配当金受領株主 確 定 日

中間配当金受領株主 確 定 日

定時株主総会株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

4月1日~翌年3月31日

3月31日

9月30日

毎年6月

.. .__.

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先)〒137-8081

新東京郵便局私書箱29号

上場証券取引所公告 の方法

東京証券取引所

電子公告により行う

公告掲載URL

https://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html

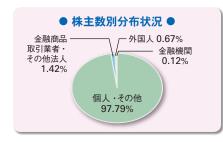
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

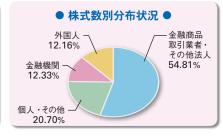
(ご注意)

- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の状況

発行可能株式総数 発行済株式の総数 株 主 総 数 46,000,000株 31,413,473株 23,165名







城壁に囲まれた かつての王国の首都

モロッコ タルーダント

撮影・文

菅原 千代志 (フリー写真家、独日本写真家協会会友)

1970年代初頭から各国を旅し、民族文化をテーマに北米、イベリア半島を中心に多くの海外取材を手掛け、新聞・雑誌などに写真とエッセイを発表。『アーミッシュ/もうひとつのアメリカ』ほかの著書がある。



手工芸品とともにスークに並ぶ野菜や果物

アフリカ北西部に位置するモロッコ王国。カサブランカに次ぐ第2の都市でモロッコの由来ともなった街マラケシュは中部にあり、かつての首都でもあります。街の南には東西2,000km余に及ぶアトラス山脈*1が延びていて、その南麓のスース流域の街タルーダントは、市場の街としてキャラバン・ルートの重要な拠点です。周囲をおよそ6kmの赤い城壁に囲まれ、その佇まいから「小さなマラケシュ」とも呼ばれますが、事実、1528年にサーディ王朝*2が城壁を築き、王室をマラケシュに移すまでこの街を首都とし、黄金時代を迎えました。「アリババと40人の盗賊」**の舞台という説も伝わっています。

スースの渓谷地帯は平地がひろがり、サトウキビ、綿、米など

で繁栄しましたが、今も農産物が豊かで、市内のスークと呼ばれる市場には宝飾品や織物とともに様々なスパイスが山盛りにされ、野菜や色鮮やかな果物などがところ狭しと並んでいます。 広場には簡素なテーブルを並べた屋台のハーブティーで寛ぐ人たちや、手押し車で農産物を運ぶ人たちの往来で賑わっています。

街の周辺にはこの流域固有の植物とされるアルガンの木が多く、食用や化粧品として人気の高いアルガン・オイルがつくられていますが、放牧された山羊の群れがアルガンの木の枝に登っている珍しい光景にも出会えるのです。

※1 アトラス山脈

モロッコからチュニジアにかけ東西に延び、名前はギリシア神話の巨神アトラスにちなんでいる。西に向かうほど高く、最高峰はモロッコのツブカル山で標高4,167m。スキーリゾートなどもあり、北からリフ山脈、モワヤンアトラス山脈、オートアトラス山脈、アンティアトラス山脈の4つに分かれている。

※2 サーディ王朝 (1509-1659年)

サアド朝ともいい、16世紀のモロッコに興った王朝。北アフリカ西部はサハラを越える 隊商貿易の重要な拠点で、ベルベル人は強力なイスラム王朝を次々に興した。サアド王 朝は進出してきたオスマン帝国を退け、港町アガディールをポルトガルから奪還するなどスース域で力をつけたが、17世紀に急速に衰退し滅亡した。

※3 アリババと40人の盗賊

貧しいが真面目で働き者のアリババが山へ薪を集めに行き、40人の盗賊が洞窟に財宝を隠すのを目撃した。盗賊が立ち去った後、耳にしていた呪文の「開けゴマ!」を唱えると洞窟の扉が開いて財宝を手にすることが出来た。「千夜一夜物語」の一話として知られるが、原本には含まれていない。

本社·事業所一覧

位"尹未川	一見				
			社	☎	
	〒100-0005	東京都千代田	区丸の内3-4-2 (新日石ビル)	03-6212-6300	
		営	業所		
札幌	〒060-0003	札幌市中央区:	比3条西1-1 (サンメモリアビル)	011-231-2681	
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区-	-番町2-4-1 (仙台興和ビル)	022-262-3271	
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区	綿3-4-6 (桜通大津第一生命ビル)	052-962-3225	
大阪	〒541-0053	大阪市中央区	k町1-6-16 (いちご堺筋本町ビル)	06-6264-7900	
福岡	〒812-0013	福岡市博多区	専多駅東1-12-17 (五幸ビル)	092-411-6854	
		出	長所		
広島	〒732-0052	広島市東区光岡	町1-12-20 (もみじ広島光町ビル)	082-568-0566	
		Т	場		
北海道	〒067-0051	北海道江別市	144	011-384-1621	
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市		0289-76-2211	
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市	さつき町5	0289-76-3271	
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市	さつき町10-2	0289-76-5905	
鹿沼ミラフォーム	〒322-0014	栃木県鹿沼市	さつき町13-1	(FAX) 0289-76-3227	
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市	さつき町17	0289-76-2211	
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市	さつき町13-1	0289-76-2121	
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市		0289-76-6606	
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市	東深芝16-3	0299-93-4111	
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市	市大字六呂見653-2	059-345-1220	
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市	市北小松町字扇廣1600	059-328-2563	
関西	〒679-4304	兵庫県たつのī	市新宮町下笹515	0791-77-0213	
北九州	〒800-0229	福岡県北九州市	市小倉南区曽根北町2937-7	093-474-7211	
九州	〒861-0111	熊本県熊本市	比区植木町宮原553	096-274-7101	
		研究	 挖所		
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市		0289-76-1600	
四日市	〒510-0881	三重県四日市	市大字六呂見653-2	059-345-1245	
		海	外		
北 米			アジア		
JSP International, LLC. (アメリカ)			JSP Foam Products, PTE. Ltd.	(シンガポール)	
JSP International de Mexico, S.A. de C.V. (メキシコ)			Taiwan JSP Chemical Co., Ltd. (台湾)		
南 米			KOSPA Corporation (韓国)		
JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda. (ブラジル)			JSP Plastics (Wuxi) Co., Ltd. (中国)		
欧州			JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd. (中国)		
JSP International SARL (フランス)			Kunshan JSP Seihoku Packaging Material Co., Ltd.(中国)		
JSP International s.r.o. (チェコ)			JSP Plastics (Dongguan) Co., Ltd. (中国)		
JSP International o.o.o). (ロシア)		JSP Plastics (Wuhan) Co., Ltd. (中国)		
			100 5 1 11 5 1 1 1 / ()	10)	



発行 株式会社 JSP

東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル 広報IR室 TEL.03-6212-6306 FAX.03-6212-6302 ホームページ www.co-jsp.co.jp



JSP Foam India Pvt. Ltd. (インド)

JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd. (タイ)

